

事業番号	16 01 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	災害警備対策推進事業	部局	警察本部	課・室	警備部				
		実施期間	S29 ～	E-mail	police-keimu @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

近年、令和元年東日本台風を始めとする自然災害により甚大な被害が発生しており、今後も豪雨による河川氾濫・土砂災害や南海トラフ地震等の大規模災害がいつ何時発生するか予測が困難である。

発生と同時に装備資機材を有効活用し、救出救助等の能力を最大限発揮するため、継続して装備品を整備、更新するなど、即応体制を確保する必要がある。

2 事業目的

大規模災害発生時に、迅速かつ的確な初動対応を行うため、精強な救助部隊の構築を図るとともに、救出救助能力の向上、装備資機材の継続的な整備及び災害警備本部の機能強化等により災害への対処能力を高める。

3 事業目的を達成するための取組

①災害警備訓練の実施

- ・激甚化、頻発化する豪雨災害等に備えた各種災害警備訓練を実施
- ・防災関係機関と連携した合同訓練を実施

②災害警備における救出救助、搜索等の実施

- ・災害発生時における水難救助活動や行方不明者の搜索等のために必要となる救助用ゴムボート等を整備



合同訓練の状況



行方不明者の搜索活動

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績			
①	災害警備訓練実施回数	回	—	66	-	102	↗	28	達成 22警察署で実施する訓練と他機関との合同訓練回数を合わせた28回を目標とする
②	指標なし								

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
1-6①	県民生活の安全確保										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	21,363	0	21,363	21,244	20,947	-
R5年度	0	49,016	0	49,016	48,897	45,517	-
R4年度	0	46,760	15,794	62,554	62,435	53,189	-

事業番号	16 01 03	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	災害警備対策推進事業	部局	警察本部	課・室	警備部		

7 主な取組実績と成果

①災害警備訓練の実施

・有事の際に迅速、的確に救出救助ができるよう、購入整備した災害装備資機材を活用し、操船訓練や水没車両からの救出救助訓練等の各種災害警備訓練を実施し、警察署員の救助能力の向上を図った。

・自治体との連絡体制を構築した上で、消防等防災関係機関と合同訓練を実施し、連携を図った。



溺水者救出訓練、水没車両からの救出救助訓練の状況

②災害警備における救出救助、捜索等の実施

災害発生時における行方不明者の捜索、その他水難救助活動等において、救助用ゴムボート等を活用した。



行方不明者捜索活動・救助活動の状況

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	災害警備訓練実施回数	R5年度推移	-	R6年度推移	↗	達成状況	達成
新型コロナウイルス感染症の収束により、対面訓練を実施できる環境が整ったことに加え、能登半島地震の発生など、昨今の災害発生情勢を踏まえて災害警備訓練の重要性、必要性等を各署の災害警備訓練指導員に教養、指導した結果、目標値の28回を大幅に上回る102回の実施につながった。							
指標 ②	指標なし	R5年度推移		R6年度推移		達成状況	

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

救出・救助活動のために購入した装備資機材は、経年劣化や耐用年数により使用不能となるものが多く、今後も継続して修繕、購入が必要である。また、装備資機材の性能は年々上がっており、現場活動における安全性や利便性等を考えると、装備の更新が必要。

(2) 事業改善の方策

適正な管理により、装備資機材を常時使用可能な状態に維持するとともに、修繕ができないものは順次入替えを行い、大規模災害の発生に備える。また、令和 6 年能登半島地震発生に伴う警察災害派遣隊の現地活動の教訓を生かし、大規模災害現場において必要となる装備品等の整備を行う。

事業番号	16 01 03	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ■点検		
事業名	災害警備対策推進事業			部局	警察本部	課・室	警備部

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	災害警備対策事業		53,189 千円	45,517 千円	20,947 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	災害警備用装備資機材の整備	直接	・各種感染症対策、備蓄装備品の整備 ・救助・捜索用装備資機材の整備		
			・ゴムボート 6 艇を 6 署、投光器 5 台を 5 署、スケッドストレッチャー 1 台を 1 署、救助用エア式マットジャッキ 1 台を 1 署に整備		
2	総合指揮室維持管理費	直接	・災害警備本部となる総合指揮室の維持管理経費		
			・有事の対応に備えた維持管理		